



芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

～みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ～

令和元年 7月24日

かなえよう

No.9

芽室町教育委員会

1 芽室西中学校の第2回学校運営協議会の様子～各委員の熟議をする姿が輝く！

18日の標記協議会では、学校運営の説明を受け、学力・体力、記述式問題の弱点克服、英語教育の推進、人材やボランティアの活用、教師の子供との向き合い方、各



委員の芽室町の理解度などについて熱い議論を展開し、改めて学校、家庭、地域の連携・協働の必要性を実感しました。第3回は、芽室西小・中合同協議会を開催予定。

2 あなたは、町の自慢である「芽室遺産」を知っていますか？

芽室遺産構想推進協議会は、平成18年に芽室公園と柏の木、10線防風林、新嵐山展望台からの風景、花菖蒲園、松久園の母屋、芽室発祥のゲートボールの6つを「芽室遺産」として決定。地域のヒト、モノ、コトなどは、CSの大事な資源です。子供たちの教育や芽室町の活性化のためにみんなでワイワイガヤガヤ話し合い、ヒト・モノ・コトなどの資源を再発見していきましょう。いざ、新「芽室遺産」発見！

3 見直そう「向こう三軒両隣」！

地域コミュニティの活性化には、地域住民が、笑顔で暮らせる元気なまちづくりをしたいと願い、住民同士のつながりを深めることが大切です。本町でも町内会をはじめ、子供会、地域づくり団体など様々な団体が活動を行っていますが、住民同士のつながりを深めるためには、昔ながらの「向こう三軒両隣」の再生が原点となるかも？

4 本町の児童生徒は、記述式の問題が苦手？～ 全町的に課題解決を図りたい！

記述式問題では、問題や文章の意味を理解し、論理的に思考し、正しい答えを導き出すというプロセスが必要になります。また、知識の蓄積量や理解を深めるためには、覚えた内容を第三者に説明し、納得させる場や機会も必要になります。まさに、今日求められている「主体的・対話的で深い学び」が有効であることは論をまたないところです。さらには、記述式問題を苦手としている子供は、日頃の読書量が不足している傾向がありますので、家庭や学校で読書量を増やす工夫もしていきたいものです。



5 「頑張る自分の源」＝自己肯定感・自己有用感を高めたい！

■「自己肯定感」とは、誰かと比較することなく、自分を卑下したり否定的になったりせず、ありのままの自分を受け入れることで、生きていくために欠かせません。

■「自己有用感」とは、自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということをも自分自身で認識することです。

■各校の全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙」より

「自分にはよいところがあると思うか」に対する回答のポイントと、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか」のポイントには相関性があるように思います。学校や家庭で子供のよさを認め励ます教育を大事にしていきたいものです。

<言葉のビタミンプラス>

★想像以上の「北海道」がここにある by 芽室町観光物産協会